



圃場間で生育のバラつきが大きい！ 圃場をよく見て、生育に応じた技術対策を！

◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の6月20日現在の県全域の生育は、平年値に比べて草丈はやや長く、茎数、葉数は平年並み、葉色はやや濃くなっています。

平坦部「雪若丸」の生育（6月20日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	（概況）
草丈	32.8 cm	31.2 cm	105	やや長い
茎数	489 本/m ²	496 本/m ²	99	平年並み
葉数	8.4 枚	8.4 枚	0.0	平年並み
葉色（SPAD）	46.5	45.5	1.0	やや濃い

（農業技術環境課調べ）

（1）有効茎数を確保した圃場から直ちに作溝・中干し！

「雪若丸」は、6月中（8～9葉期まで）に有効茎数（560～580本/m²）を確保することが高品質・良食味米生産のポイントです。

有効茎数を確保したほ場では、直ちに作溝・中干しを行いましょう。

（2）茎数不足の圃場では、浅水管理とワキ対策を徹底して分けつ促進！

日中止水、夜間かんがいを徹底し、水深2～3cmの浅水管理で分けつを促しましょう。

2週間予報によると、今後は気温の高い日が多い見込みです。

土壌の異常還元（ワキ）がみられた場合は、夜間落水や田干しを行い、根圏環境の改善を図ります。

6月20日の茎数が300本/m²以下、葉色40以下の場合は、窒素成分量1kg/10a程度を補完施用し、分けつを促進しましょう。施用した場合は、追肥量を減肥します。

**収量を確保するための重要な時期！
生育に応じたきめ細かな栽培管理を行いましょう！**